

## 1. 「健康くさつ21(第2次)」進捗状況

## ■糖尿病対策について

## 意見概要

- ・糖尿病重症化予防について県のプログラムの「糖尿病性腎症重症化予防事業」に取り組んでも良いと思う。
- ・糖尿病医療中断者と直接話をする機会があれば、中断の要因について干渉し、「受診勧奨」から「受診支援」に踏み込めないか。

## →市の考え方・対応方針について

草津市では、**滋賀県糖尿病性腎症重症化予防プログラム**に基づき、ハイリスク者及び治療中断者に対して、**受診勧奨**等の支援を実施しております。今年度は対象者に対して、治療中断及び未受診となっている**要因**について可能な範囲で調査し、今後の支援に活かしたいと考えます。

## ■特定保健指導について

## 意見概要

- ・特定保健指導の参加勧奨された者のうち、実際指導を受けられた方の数、割合が数値化できないか。

## →市の考え方・対応方針について

令和2年度の特定保健指導の利用勧奨者数(令和2年度健診受診者分)は**463人**、実際指導を受けた人の数は**80人**です。草津市は、利用者が低い状況にあります。糖尿病有病者の減少には、この取組を含め、健康増進課及び関係各課で実施している健康増進にかかる取組が関係していると考えておりますので、総括的に取組みの成果について検討していきたいと思っております。

## ■その他

## 意見概要

- ・参加型の健診・相談などが実施しにくい中で、できる限りの取組をされたと思う。
- ・コロナ禍でいろいろな変更と中止があったように思う。

## →市の考え方・対応方針について

コロナ禍において、実施の難しい取組もありましたが、オンライン上での啓発や広報媒体を用いた啓発等取組を実施しております。引き続き、実施可能かつ効果的な啓発方法について検討すると同時に、**アフターコロナ**に向けての取組準備を行いたいと考えております。

## 2. 「第3次草津市食育推進計画」進捗状況

## ■学校給食について

## 意見概要

- ・学校給食による**地場産物の利用**が、新型コロナウイルス**感染症の影響**により難しかったとあるが、どのような影響があったのか。

## →市の考え方・対応方針について

学校給食センターを中心として、学校給食を利用した食育の推進を実施しております。**地場産物の利用**については、コロナ禍において、学校給食が一時中止になる等、不安定な実施状況であったため、**安定的な地場産物の供給が難しく、利用に繋がらなかったと聞いております。**今後も引き続き、学校給食を通じた食育の推進に取り組んで参りたいと考えます。

## ■その他

## 意見概要

- ・成人に対するイベントの場合、成人自身への食の関心を高めることが中心になることは当然だが、そこで子ども(乳幼児)の時代からの食生活の大切さをさらに強く意識してもらい、子どもたちの生活の改善に繋がることを期待している。
- ・コロナ時代にあった実のある計画が立てられ、実行されますように期待している。

## →市の考え方・対応方針について

子どもの頃からの食生活の重要性について意識し、市民の皆様に取り組んでもらえるよう、乳幼児健診等様々な取組を通じて働きかけを続けるとともに、**アフターコロナ**を目指した新たな取組についても検討を進めていきます。

様々な働きかけの中で、合わせて啓発できるよう取り組んでまいりたいと考えます。